

令和4年2月15日開会

令和4年第1回東松島市議会定例会

会派代表質問通告書

東松島市議会

《 会派代表質問 目次 》

令和4年第1回定例会

順位	会派名 代表氏名	件	名	頁
第1位	松桜会 代表 小野 惠章	1	市政執行における所信を問う	2、3
第2位	清新会 代表 阿部 勝徳	1	市政執行の所信5つのまちづくりの方向性について伺う	4、5
第3位	自公・清風 代表 土井 光正	1	新型コロナウイルス感染症に係る対応について問う	6
		2	第2次総合計画後期基本計画の「5つのまちづくりの方向性」について問う	7～9

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>松桜会</p> <p>代表</p> <p>小野</p> <p>恵章</p>	<p>1. 市政執行における所信を問う</p>	<p>(1) まちづくりの方向性1「産業と活力のある住みたくなるまち」について</p> <p>①農業・漁業における担い手等の人材育成、生産振興、販売力向上の具体的な取組をどのように行うのか。</p> <p>②「令和の果樹の花里づくり」について、復興庁の土地活用ハンズオン支援事業を活用しているとあるが、どのような事業内容か。</p> <p>③産業と観光の発信拠点となる道の駅の開業について、令和6年度を目指すとするが、庁内プロジェクトチームで全て完結できるのか。また、整備後の経営戦略まで現状のプロジェクトチームで対応可能か。</p> <p>④県事業を活用した「産業用地適地調査」結果を踏まえた令和4年度の新たな産業用地整備事業の内容は。</p> <p>⑤「移住・定住の促進」に向けた地域おこし協力隊を増員するとしているが、どのような人材を登用するのか。</p> <p>(2) まちづくりの方向性2「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」について</p> <p>①「東松島市子どもの笑顔と生きる力を育む基本条例」における最も大切にする理念は何か。また、充実を図るべき施策は何か。</p> <p>②心のケア推進を図るうえで、コロナ禍の終息が見えない状況下で、どのように市民協働のまちづくりを推進するのか。</p> <p>(3) まちづくりの方向性3「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」について</p> <p>①学力向上につながる教科教育指導員及び特別支援教育支援員の増員について、具体的な配置はどのようなになるのか。</p> <p>②保護者の意識醸成による家庭学習について、どのような施策で推進するのか。</p>

		<p>③大規模なスポーツ大会の誘致において、飲食、宿泊利用については広く市内経済の還元に努めるべきであるが、どう取り組むのか。</p> <p>(4) まちづくりの方向性4「災害に強く安全で快適で美しいまち」について</p> <p>①脱炭素化動向を踏まえた再生可能エネルギー利用の取組を一般社団法人東松島みらいとし機構（HOPE）と連携し推進するとしているが、HOPEとの連携の必然性は。</p> <p>②JR矢本駅南北通路整備事業の令和4年度における進捗目標は、どう見据えているのか。</p> <p>(5) 村井県政との連携について</p> <p>①宮城県の施策として、新たに日本語学校設置の方向性が示された。この施策に対し、本市はどのように取り組むのか。</p> <p>②県では、ヤングケアラー調査の結果に基づく予算を計上されている。本市におけるヤングケアラーの現状と県予算の活用をどのように考えているのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>
--	--	---

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>阿部</p> <p>勝徳</p>	<p>1. 市政執行の所信5つのまちづくりの方向性について伺う</p>	<p>(1) まちづくりの方向性1「産業と活力のある住みたくなるまち」について</p> <p>①「令和の果樹の花里づくり」について、市内農業法人の参画形態と交流人口拡大への道筋について伺う。</p> <p>②道の駅の施設内容の検討及び設計や国土交通省との協議を進めるとされているが、今考えられる施設内容と最も重要と思料する経営体制について伺う。</p> <p>③野蒜海水浴場の再開とビーチスポーツの環境整備についての具体的取組について伺う。</p> <p>④産業用地については議会からも提案しているが、産業用地適地調査の結果と今後の予定について伺う。</p> <p>(2) まちづくりの方向性2「子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち」について</p> <p>①様々な子育て支援に取り組んでいるが、サポート体制の充実について伺う。</p> <p>②健康診断検査料見直しとともに取り組む受診率向上対策について伺う。</p> <p>(3) まちづくりの方向性3「次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち」について</p> <p>①これまで整備したタブレット端末や電子黒板など、ICT環境の効果的な活用についての考え、また、家庭学習推進のための保護者の意識醸成に向けた取組について伺う。</p> <p>②コミュニティセンターと市民センターや芸術文化活動諸団体との連携を深め、生涯学習と文化活動の充実を図るとされているが、市長の思い描く生涯学習と文化活動の充実について伺う。</p> <p>(4) まちづくりの方向性4「災害に強く安全で快適で美しいまち」について</p> <p>①これまで東松島消防署庁舎建設や避難道路の整備などハード面の大きな課題に取り組んでこられたが、</p>

		<p>本年度のハード面を含めた消防・防災体制の整備について伺う。</p> <p>②今回作成する総合防災マップの詳細について伺う。</p> <p>③国の脱炭素化を踏まえ、一般社団法人東松島みらいとし機構（HOPE）と連携して再生可能エネルギーの利用に取り組むとされているが具体的な取組について伺う。また、庁用車のEV化や庁舎への充電施設の整備など考えるべきと思うがいかがか。</p> <p>④デマンドタクシー「らくらく号」の利便性向上策について伺う。</p> <p>（5）まちづくりの方向性5「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」について</p> <p>①希望者への防災集団移転団地の借地区画の払い下げの見込みについて伺う。</p> <p>②蔵王町との交流について伺う。</p> <p>③定住自立圏構想の今後の取組について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>
--	--	--

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>自公・清風</p> <p>代表</p> <p>土井</p> <p>光正</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症に係る対応について問う</p>	<p>新型コロナウイルス感染症は、感染が確認され2年経過しても未だ感染拡大の一途をたどっている。特に感染力が強いといわれているオミクロン株は、今年に入ってから猛威を振るい、2月14日までで感染者が203人となり、新たに市民の不安を抱かせている。</p> <p>また、小中学校や保育所等においてもクラスター発生による臨時休業や学級閉鎖が行われている。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 最も有効な対策として3回目のワクチン接種の迅速化を図るとしているが、全国的に見てもワクチン接種率の低迷が問題となっている。その要因をどのように捉え対応していくのか伺う。</p> <p>(2) 国の通知を踏まえ、ワクチン接種対象年齢の11歳以下5歳以上までの拡大の準備等を進めているとあるが、どのような体制で進めているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>自公・清風</p> <p>代表</p> <p>土井</p> <p>光正</p>	<p>2. 第2次総合計画後期基本計画の「5つのまちづくりの方向性」について問う</p>	<p>「東松島市第2次総合計画後期計画」でまちづくりの将来像として掲げた「住み続けられ持続・発展する東松島市－地方創生のトップランナーをめざす－」の実現に向け、5つのまちづくりの方向性が打ち出されている。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 産業と活力のある住みたくなるまち</p> <p>今年度、宮城県の事業を活用して実施している「産業用地適地調査」の結果を踏まえ、新たな産業用地の整備を検討していくとあるが、具体的な計画について伺う。</p> <p>(2) 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち</p> <p>① 今回の定例会に上程した「東松島市子どもの笑顔と生きる力を育む基本条例」の理念に基づき、各種施策の充実を図り、展開するとある。先日、家族の世話や家事を日常的に担い、年齢や成長段階に見合わない重い責任や負担を負うヤングケアラーが「宮城に157人」と新聞等で報道された。初めての実態調査で判明したものだが、ヤングケアラーは社会的に大きな関心がある課題でもある。本市においても、該当する子どももいると聞き及んでいる。このことについて、どのように対処していくのか。</p> <p>② 高齢者や障がい者等への支援は、地域包括支援センターを中心とした一体的なケアの推進を行うとある。ひとり暮らしの高齢者等については、食事を作ることができなくなり思うように食事をとれないため、健康状態も心配であると聞き及んでいる。そこで、本市でも配食サービス事業を取り入れていく考えは。</p> <p>(3) 次代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち</p> <p>① 「子どもたちの可能性を広げ伸ばす学力の向上」では、個々の学習課題に応じた指導実践に向け、教科教育指導員を増員するとある。具体的な増員内容と</p>

		<p>教員の働く時間軽減の効果をどのように考えているのか。</p> <p>②一昨年のオリンピック聖火到着に合わせ「東松島市スポーツ健康都市宣言」を行った。本市は、スポーツ振興にかなり力を注いでいると内外から高い評価を得ている。「全世代にわたるスポーツの振興」では、鷹来の森運動公園へのスケートボードパーク整備に向け、調査設計を進めるとあるが、具体的な設計コンセプト及び施設の管理運営について伺う。</p> <p>(4) 災害に強く安全で快適で美しいまち</p> <p>①近年多発する集中豪雨等に備え、新たに河川や内水に係る総合防災マップを作成し、全戸配布するとある。行政的視点からではなく、市民に分かりやすい防災マップにすべきと考える。この点について、これまでどのような検討をされ、どのような防災マップを提供していくのか伺う。</p> <p>②国の脱炭素化の動きを踏まえ、一般社団法人東松島みらいとし機構（HOPE）と連携し、地方創生の視点を踏まえながら再生可能エネルギー利用の取組を推進するとある。脱炭素化は、市民と一体となった取組も不可欠であると考えているが所見を伺う。</p> <p>(5) 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち</p> <p>「効率的で持続可能な行財政運営」では、本市の行財政運営を持続可能なものとするため、国及び宮城県等の財源の効果的活用を図るとある。先日、女川原子力発電所の事故を想定した防災訓練が行われた。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から住民参加訓練は中止となり、代わりに市職員が住民役として一時移転訓練に参加した。本市は、UPZという原子力災害対策重点区域に市域の大半が含まれており、本来であれば、電源立地交付金、核燃料税交付金、各補助金のかさ上げや減免措置等の対象適用区域になるべきと考える。</p> <p>本市においても、原発事故発生時は緊急防護措置</p>
--	--	--

を準備する必要がある、その財源確保として国及び宮城県に対し、対象適用区域の拡大を働きかけるべきと考えるがいかがか。

【答弁を求める者 市長、教育長】